

株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様



株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座をお持ちの株主様



特別口座の口座管理機関である
三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

第70期中間(第2四半期)報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



旭松食品株式会社

Asahimatsu Foods Co., Ltd.

▶ 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第70期中間（第2四半期）報告書（2019年4月1日から2019年9月30日まで）をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 **木下 博隆**



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、国内では消費税の引き上げによる景気悪化への懸念、海外では米中貿易摩擦や欧州の政治情勢等の影響など、依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心への関心は依然高く、「食品等事業者」へのHACCP（ハサップ）の導入義務化を翌年に控え、一段と高い品質・衛生管理体制の整備が求められております。また、経営面では、少子化が進み量的な拡大が見込めないなか、製造コストの増加傾向が今後も強まっていくものと思われま。とりわけ、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されているほか、エネルギーコストや物流コストの上昇など負担は益々増大しております。また、本年10月からの消費税増税では、軽減税率の導入など負担軽減の措置により短期的な影響は少ないと考えられるものの、長期的には消費者の節約志向はさらに強まるものと思われま。

このような状況のなか、当社グループでは、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000の認証取得及びバージョンの更新を引き続き実施しており、品質の維持・向上や合理化のための設備投資を継続的かつ積極的に行っております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主要事業である凍豆腐などが、前連結会計年度に続き好調に推移したことから、売上高は42億2千3百万円（前年同期比9.5%増）となりました。利益面では、品質のさらなる向上のための費用や増産投資等に伴う減価償却費や諸経費等の増加がありましたが、製造コストの上昇を抑えるための生産体制の継続的改善や製造技術の向上などに従来以上に注力してまいりました。これらの業績改善施策に加え増収効果もあり、営業利益は1億2百万円（前年同期は5千7百万円の損失）、経常利益は1億2千万円（同3千6百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6千6百万円（同4千4百万円の損失）と増加いたしました。

部門別概況は、次のとおりであります。

【凍豆腐】

凍豆腐では、引き続き市場の拡大・活性化を図る方針であり、当第2四半期連結累計期間におきましても継続して活動してまいりました。また、当社グループの食品研究所にて、健康機能性について積極的に研究を進め、業界を挙げて製品価値の訴求に努めてまいりました。その結果、売上高は20億4千7百万円（同16.4%増）と大きく増加いたしました。営業面では、消費者の皆様に対し凍豆腐の健康機能性を分かり易くお伝えするため、業界では初の機能性表示食品として認可を受けた商品を発売いたしました。また、特許申請しておりました「新あさひ豆腐」に採用した減塩化製法は、本年7月に特許を取得いたしました。なお、日本初となるグローバルGAP認証大豆を使用した新商品「なめらかおからパウダー」の発売（10月7日）に向け活動するなど、市場の活性化に努めてまいりました。

【加工食品（即席みそ汁等）】

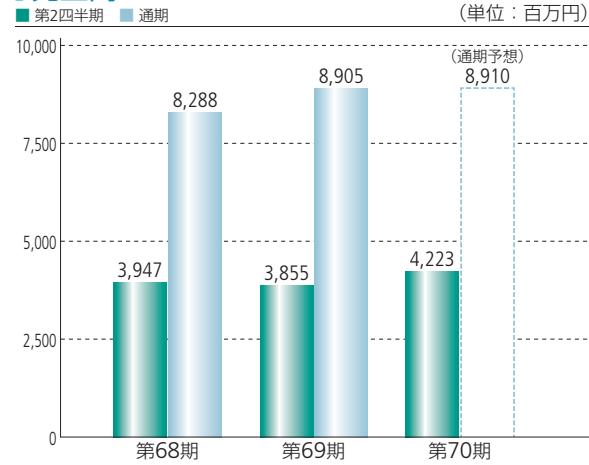
加工食品では、単品収益管理の徹底を一層図るとともに不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善に引き続き努めております。なかでも前連結会計年度から、大手流通や老舗料亭との共同企画商品の開発・発売や当社の強みを活かした「納豆汁」のアイテムアップに注力したほか、昨今注目されているロカボ（低糖質）をコンセプトとした「食・楽・健康協会」認証の商品「カップサラダチキンスープ」2アイテムを発売するなど売上高の増加に注力してまいりました。その結果、売上高は11億2千5百万円（同6.5%増）となりました。

【その他食料品】

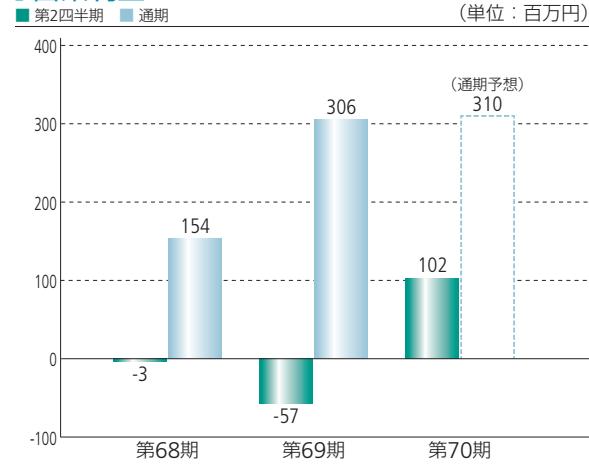
その他食料品では、売上高は10億5千万円（同1.1%増）となりました。その中で、医療用食材において消費者庁より本年6月に嚥下困難者用食品として特別用途食品の表示許可を受けた冷凍介護食カットグルメランド商品の「ふんわりなめらかこうや」（トレータイプ）を発売いたしました。

第2四半期連結業績の推移

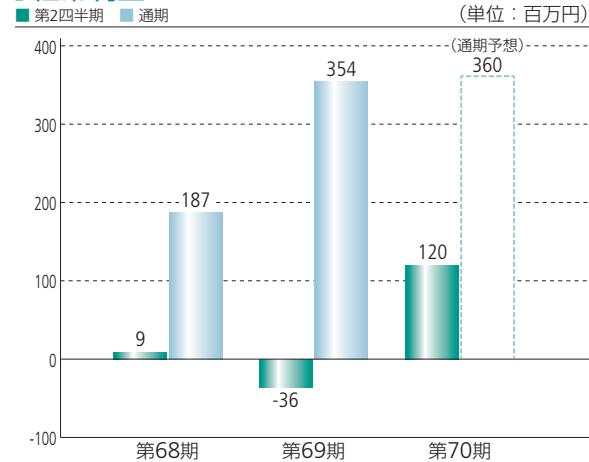
売上高



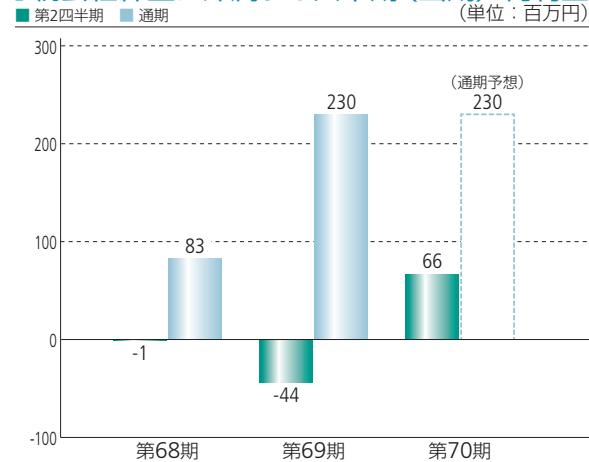
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



第2四半期決算概要

連結貸借対照表

単位：千円(未満切捨)

科目	前第2四半期 (2018年9月30日)	当第2四半期 (2019年9月30日)	前期 (2019年3月31日)
資産の部			
流動資産	4,605,823	4,783,012	5,244,471
固定資産	5,234,415	5,216,602	5,050,082
有形固定資産	4,304,119	4,509,696	4,282,310
無形固定資産	144,933	75,464	101,972
投資その他の資産	785,361	631,441	665,798
資産合計	9,840,239	9,999,615	10,294,553
負債の部			
流動負債	2,294,094	2,019,850	2,058,054
固定負債	838,985	1,155,827	1,351,581
負債合計	3,133,080	3,175,677	3,409,635

純資産の部

株主資本	6,590,410	6,834,036	6,864,657
資本金	1,617,844	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,471,622	3,750,277	3,746,208
自己株式	△131,479	△166,508	△131,819
その他の包括利益累計額	70,046	△54,337	△25,162
その他有価証券評価差額金	△6,414	△104,658	△88,019
為替換算調整勘定	76,460	50,321	62,856
非支配株主持分	46,702	44,237	45,423
純資産合計	6,707,158	6,823,937	6,884,918
負債純資産合計	9,840,239	9,999,615	10,294,553

連結損益計算書

単位：千円(未満切捨)

科目	前第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	前期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
売上高	3,855,299	4,223,409	8,905,719
売上原価	2,777,525	2,957,031	6,196,808
売上総利益	1,077,774	1,266,377	2,708,911
販売費及び一般管理費	1,135,264	1,163,884	2,402,132
営業利益又は営業損失(△)	△57,489	102,492	306,779
営業外収益	25,177	22,803	56,054
営業外費用	4,051	5,064	8,776
経常利益又は経常損失(△)	△36,363	120,232	354,057
特別利益	589	—	19,660
特別損失	10,751	11,314	68,950
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△46,525	108,917	304,767
法人税、住民税及び事業税	8,974	9,964	36,650
法人税等調整額	△11,328	32,729	37,469
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	△44,171	66,224	230,648
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	103	206	337
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,275	66,017	230,310

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円(未満切捨)

科目	前第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	前期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,007	242,062	745,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550,566	△275,322	△865,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	235,190	△390,934	416,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,779	△5,978	△11,544
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△200,148	△430,173	284,476
現金及び現金同等物の期首残高	1,145,449	1,429,926	1,145,449
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	945,301	999,752	1,429,926

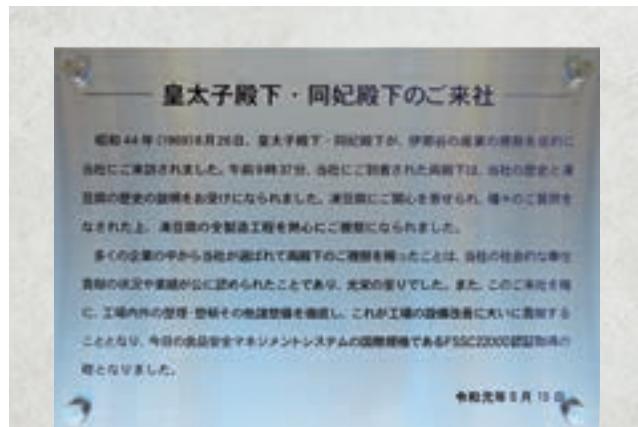
トピックス

皇太子 皇太子妃 両殿下啓記念碑建立

今から50年前のことですが、昭和44年8月26日に皇太子 皇太子妃両殿下（現上皇、上皇后両陛下）が下伊那地区の産業視察に、当社へご来訪されました。

改元の節目に、従業員をはじめご来社頂く方の記憶に刻んでもらおうと建立し、6月21日除幕式を行いました。

石碑は本店事務所棟前の緑地前に横幅3m奥行1.5mの台座に高さ1.9mの記念碑を設置し、隣にご視察した様子を説明する案内板も設置いたしました。



今回の記念碑建立にあたり、記念碑の字を田中節山先生に揮毫いただきました。田中先生は、大東文化大学名誉教授、全国書美術振興会常務理事や全日本書道連盟副理事長を務める著名な書家の方です。ご出身が長野県下伊那郡喬木村で同村のふるさと大使にも就任された下伊那地方にゆかりの深い方で、今回の揮毫を大変名誉なことだと快くお引き受けいただきました。



会社の概要 (2019年9月30日現在)

商号 旭松食品株式会社
 ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
 本店 長野県飯田市駄科1008番地
 本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
 設立 1950年12月19日
 資本金 1,617,844,105円
 関連会社 旭松フレッシュシステム株式会社
 青島旭松康大食品有限公司
 青島旭松康大進出口有限公司
 従業員数 グループ人員：236名
 当社人員：326名
 主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売
 主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、
 即席みそ汁・スープ類、
 医療用食材等
 主要な拠点
 本店 長野県飯田市駄科1008番地
 本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
 支店 東日本支店（東京都中央区）
 西日本支店（大阪市淀川区）
 営業所 仙台営業所（宮城県）
 名古屋営業所（愛知県）
 飯田営業所（長野県）
 岡山営業所（岡山県）
 福岡営業所（福岡県）
 工場 天竜工場・飯田工場・伊那工場・
 高森工場・旭松バイオセンター
 （以上 長野県）
 研究所 食品研究所（長野県）
 ホームページアドレス <https://www.asahimatsu.co.jp/>

取締役及び監査役 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長 木下博隆
 取締役 蒲田充浩
 取締役 兼 経営企画部長
 取締役 兼 研究開発統括部長
 兼 研究所長 村澤久司
 取締役（社外） 藤森明仁
 取締役（社外） 田中健一郎
 常勤監査役 佐々木寛雄
 監査役（社外） 伊坪眞
 監査役（社外） 狩野拓一